

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## ＜施工の前に＞

**警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 「呼び16フレキチューブ」は現場で別途手配してください。
- ラングベールは製品の構造上、基礎が強度に大きく影響します。基礎施工が不十分な場合、ラングベールが転倒するおそれがあります。
- 使用する場所に合わせて基礎寸法を算定してください。  
本取付説明書に記載している寸法は、長期地耐力100KN/m<sup>2</sup>、風速34m/s相当地域を想定した参考寸法です。
- 基礎はすべての基礎上面が同一高さになるように施工してください。

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ラングベール本体の施工は「電動ラングベール (D472)」の取付説明書で施工してください。

## <施工上のご注意>

### ポイント

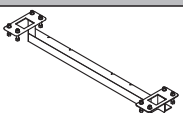
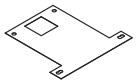
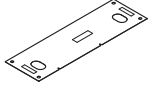
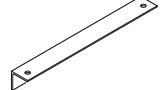
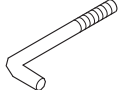



- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

## ■梱包明細表

### 【1】 ベースアングルセット

名 称	略 図	員 数
ベースアングルセット		1
M12×300アンカーボルト		8
【1-1】 M12六角ナット		8
【1-2】 M12バネ座金		8
【1-3】 M12平座金		8
取付説明書<D337>	—	1

### 【2】 センサー・電動柱治具セット

名 称	略 図	員 数	
		片引き	両引き
センサー柱治具		1	2
電動柱治具		1	2
戸当り柱治具プレート		1	—
電動戸当り柱治具用アングル		2	—
M12×150アンカーボルト		6	4
【2-1】 M12六角ナット		12	8
【2-2】 M12バネ座金		6	4
【2-3】 M12平座金		6	4
取付説明書<D475>	—	1	1

### ポイント

- ベースアングルセット同梱の取付け説明書<D337>は手動の場合の説明書です。電動引戸施工の場合は、センサー・電動柱治具セットに同梱の取付説明書<D475>を見て施工してください。





## 2. センサー・電動柱治具・ベースアングルセットの取付け

### 2-1 電動柱治具・アンカーボルトの取付け

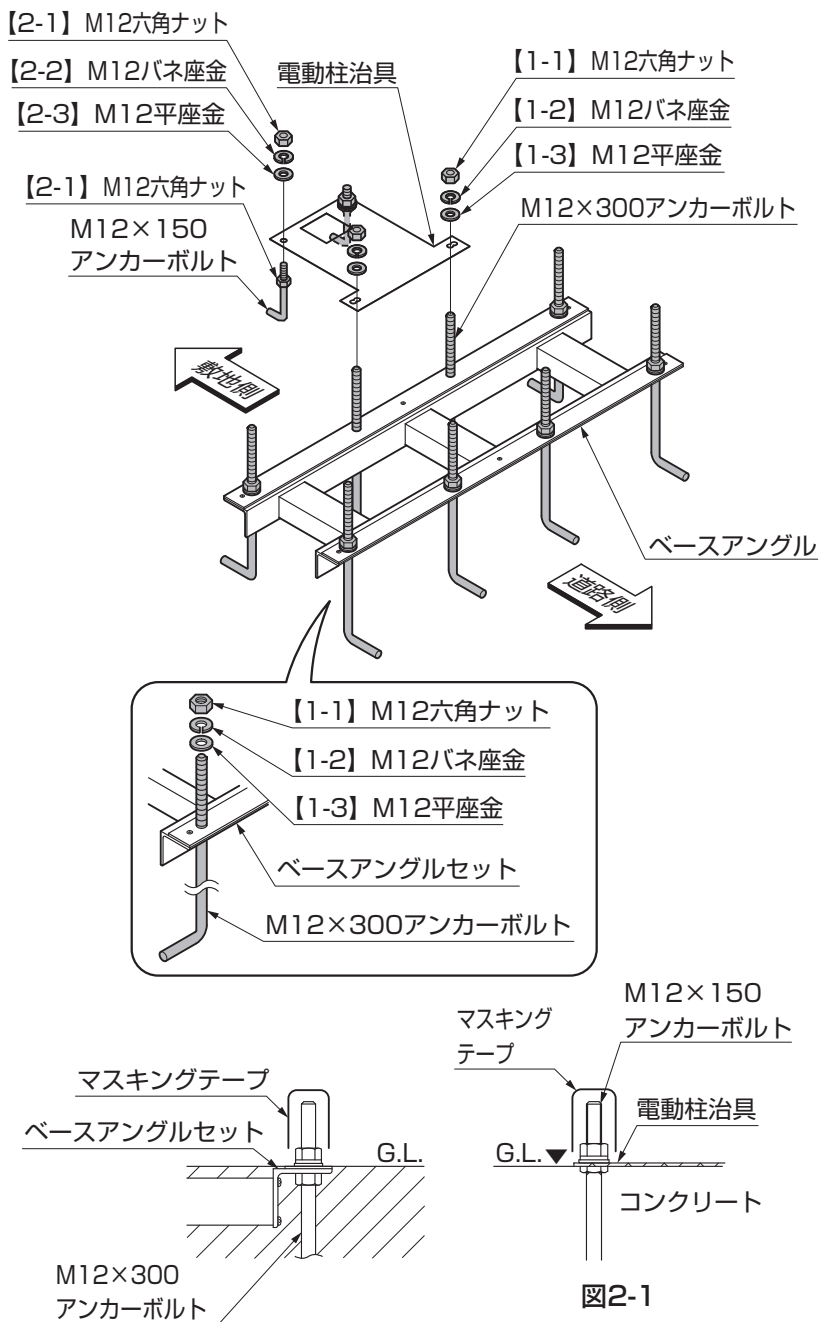
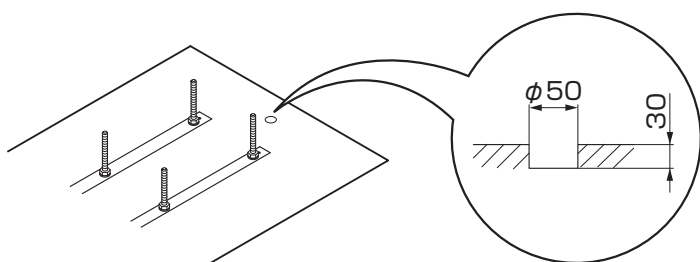


図2-1

### 2-2 落とし棒受け用穴の施工



- ① M12×300アンカーボルトをベースアングルセットに、【1-1】，【1-2】，【1-3】で取付けてください。
- ② 電動柱を、建てる側のベースアングル中央2本のアンカーボルトと電動柱治具を共締めしてください。
- ③ 電動柱治具にM12×150アンカーボルトを取付けてください。

#### ポイント

- 治具の下端に、取付ける六角ナットはアンカーボルトの下（ネジ終り）まで締め込んでください。
- 電動柱治具は、G.L.と水平になるように設置してください。

- ④ アンカーボルトのネジ部にコンクリートが付着しないようにマスキングテープ等で養生を行なってください。

#### ポイント

- 電動柱を設置する時は電動柱治具を取外した後設置してください。  
「治具（プレート）の下端がG.L.となるようにしてください」（図2-1参照）
- ベースアングルセットを水準器で水平になるように、「1.基本寸法と各部の名称」を参照して埋設してください。
- 「1.基本寸法と各部の名称」を参照して、 $\phi 50$ mm、深さ30mmの穴をあけてください。

## 2. (つづき)

### 2-3 センサー柱治具の取付け

※位置出しの切り込みと、  
ベースアングル外面を合わせる。

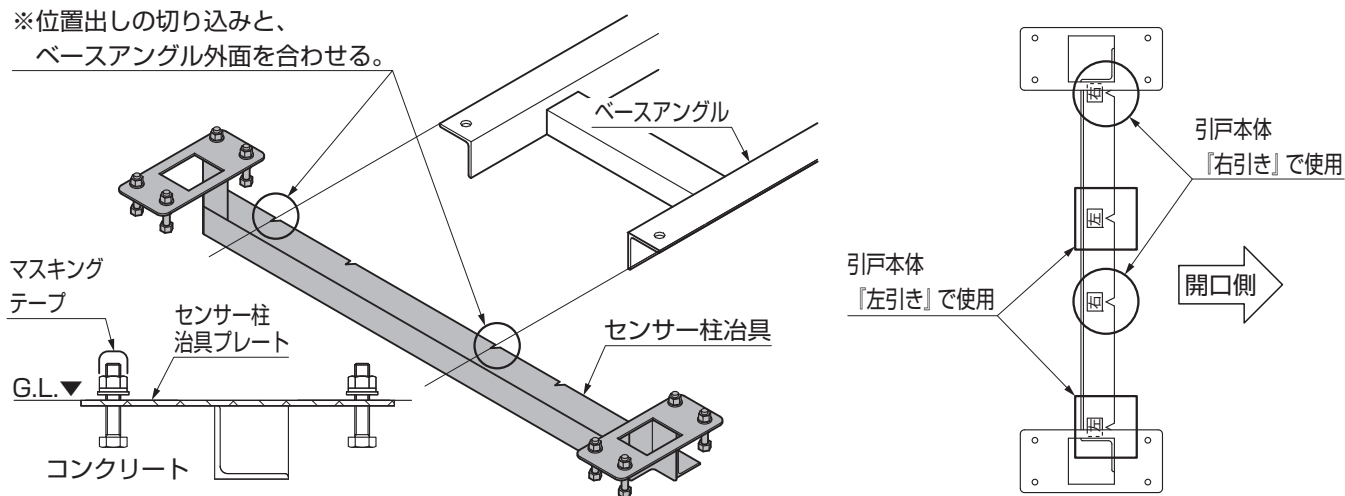


図2-2

- ①センサー柱治具の切込み（ノッチ）とベースアングル外面の通りを合わせて治具を配置してください。  
センサー柱治具に貼ってある「右」「左」のシールは引戸本体の開き方向を示します。  
（位置出しの切り込みを開口側に向けて設置してください。）
- ②センサー柱取付ボルト部にコンクリートが付着しないようにマスキングテープ等で養生を行なってください。

#### ポイント

- センサー柱を取付ける時はセンサー柱治具プレートの上にそのまま設置してください。  
「センサー治具プレートの天端がG.L.になります」（図2-2参照）

### 2-4 戸当り柱治具の取付け

※位置出しの切り込みと、  
ベースアングル外面を合わせる。

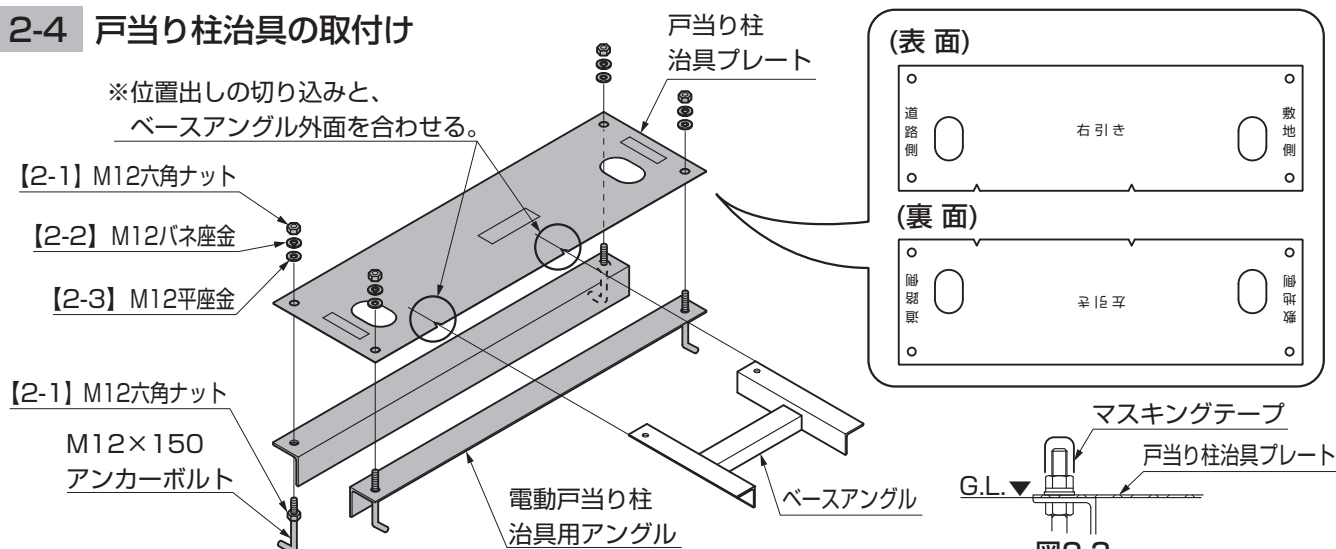


図2-3

- ①図を参照し、治具、アングル、アンカーボルトを組付けてください。
- ②引戸本体の開き方向を確認し戸当り柱治具プレートに貼ってある、シール（右引き・左引き）面を上にして組付けてください。
- ③設置する時は治具に貼ってある（道路側・敷地側）に合わせて設置してください。  
（この時、治具の切込み（ノッチ）が開口側に向いていることを確認してください。）
- ④アンカーボルトのネジ部にコンクリートが付着しないようにマスキングテープ等で養生を行なってください。

#### ポイント

- 治具の下端に、取付ける六角ナットはアンカーボルトの下（ネジ終り）まで締め込んでください。
- 戸当り柱を取付ける時には戸当り柱治具プレートはアンカーボルトからはずしてください。  
「戸当り柱治具プレートの下端がG.L.となるようにしてください」（図2-3参照）





取説コード

**D475**

JZZ618285E  
200812A\_1039  
201607F\_1049